日本を救った外交官

母国の国際的地位を高めるため、列強諸国に 精力的な外交を展開。国の発展に尽くした。 先見の目と揺るぎない信念を持ち合わせた先覚者。

小村寿太郎とはこんな人物・

幕末の飫肥城下、飫肥藩士の長男でありながら、身分にとらわれず多くの人と接して育った小村寿太郎。大学南校(東京開成学校 現・東京大学)からハーバード大学へ進学し、近代教育を学んでグローバルな世界観を身につけました。

外務省に入ると、明治日本の外交官として尽力。

ポーツマス会議で結んだ講和条約によって日露戦争を終結させ、日本の平和を取り戻し、その後も幕末に日本が欧米列強と結んだ不平等条約の改正によって、日本の世界的地位の確立を果たしました。

大国を相手にしてもひるまない強靭な信念を持って外交にあたった 小村寿太郎の功績は、日本外交史で燦然と輝いています。



小村寿太郎肖像 写真提供 / 日南市国際交流センター 小村記念館

宮崎県 郷代土 生

宮崎県 郷土先覚者ホームページ

http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/kenmin/senkaku/